



JICAグローバル・アジェンダ No.5 案件紹介

農業・農村開発（持続可能な食料システム）

PROJECT

獣医師の能力向上で モンゴルの畜産を 活性化

市場経済化以降の混乱を立て直す

総世帯の3割が畜産で生計を立てるモンゴルで、現在、獣医師の能力を高めるプロジェクトが行われています。

モンゴルでは1990年代に市場経済化した際に国営農場が解体され、多くの獣医師が失職したことで健康管理が行き届かなくなり、病気にかかる家畜が増加。残った獣医師たちの知識や技術レベルも十分ではなく、さらに冷害が重なり多数の家畜が死亡するなど、モンゴルの畜産業全体が混乱した状態にありました。

疲弊した畜産を立て直すため、JICAは1990年代後半に協力を開始。2014年から実施したプロジェクトでは、獣医師養成の中核を担うモンゴル生命科学大学で、教育カリキュラムの改善などを行い

ました。また、2020年に開始した後続プロジェクトでは、民間の獣医師とモンゴル政府が全国に配置する公務員の獣医師の能力向上に協力。病気の診断と治療に加え、畜産物の安全性確保など、畜産品の輸出拡大も見据え幅広い分野で獣医師の能力向上に取り組んでいます。

ニーズに応える実践的な研修を

これまでモンゴルの獣医学部では、学生数が多いことや施設が不十分であったことなどが原因で、実習がほとんど行われていませんでした。

これを補うべく、プロジェクトでは「家畜の感染症」「食品と環境衛生」「家畜衛生データ収集と疫学解析」「獣医臨床技術向上」という4つのテーマを設定。ウランバートル市獣医局、中央獣医ラボラトリー、モンゴル生命科学大学獣医学部および同大学獣医学研究所の関係者と日本人専門家が複数のグループをつくり、それぞれのニーズに応える実習を伴った研修や研究を行っています。

またこうした研修や研究のほか、専門用語集の開発や獣医師が免許更新時に受講する研修カリキュラムの作成など、獣医師の卒後教育体制の整備につながるよう、JICAは今後も協力を続けていきます。



モンゴル：研修でエコーを使った牛の妊娠診断を獣医師（写真右）に指導する獣医学部の教員（写真左）

DATA

公務員獣医師及び民間獣医師実践
能力強化プロジェクト

対象国
モンゴル

協力期間
2020年6月-2025年6月

VOICE

研修は多くの獣医師から好評を得ています



JICA専門家
北海道大学名誉教授 杉本千尋さん

プロジェクトでは、病気にかかった家畜の病理学的検査、病原体の遺伝子診断、超音波検査装置による牛の妊娠診断、大動物外科手術など、学部では実施できなかった研修を実施しており、90%以上もの獣医師から満足したとの評価を得ています。逆に私は彼らの知識や技術に対する吸収意欲の高さにも感心させられています。